

令和3年度第1回三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会 議事概要

開催日時：令和4年2月18日（金）18時00分～19時30分

開催方法：Web開催

出席委員：部会長 齋藤 洋一 他委員17名

欠 席：委員2名

【概要】

1 部会長及び副部会長の互選

部会長については、齋藤洋一委員に決定した。

副部会長については、森川将行委員に決定した。

2 議事

（1）自殺の現状について

＜事務局の説明＞

資料1に基づき説明を行った。

＜委員からの主な意見＞

コロナ禍において、働く女性の自殺者数が増加した要因は何か。

＜意見に対する回答＞

厚生労働省「令和3年度版自殺対策白書」によると、新型コロナウイルス感染症の影響により労働環境や形態が変化したこととの関連性が示唆されており、今後は統計に「正規雇用」「非正規雇用」の区分が追加される予定であることから、三重県においても動向を注視していくことを回答した。

（2）第3次三重県自殺対策行動計画の進捗状況について

＜事務局の説明＞

資料2-1、2-2、参考資料1、2に基づき説明を行った。

＜委員からの主な意見＞

検索連動型広告を活用した相談窓口へのつながり事業について、インプレッション数に対してクリック数が少ないことから、クリックしたくなるような広告のテキストや図柄の検討が必要である。

＜意見に対する回答＞

次年度も継続する予定であり、検討していくことを回答した。

(3) 次期三重県自殺対策行動計画の策定について

＜事務局の説明＞

資料3-1、3-2に基づき説明を行った。

＜委員からの主な意見＞

なし

(4) 意見交換

＜委員からの主な意見＞

- ・働く女性の自殺者数が増加していることから、当日欠席の三重労働局委員から、「職場におけるメンタルヘルス対策」を実施していることの報告をいただいた。
- ・臨床現場において、自殺にまでは至らないが、自傷行為や依存症に関する相談をする子ども・若者が増えている印象がある。
- ・実際の相談の中で、コロナが表立ってくることはないが、ストレスの代償行動として自傷行為をしているとすると、ストレスの原因を詳細に分析する必要がある。